

令和4年度 事業報告

新型コロナウイルス感染症については、令和4年度当初から感染者数の拡大が続き、特に8月から9月にかけてオミクロン株によるピークを迎えたが、感染対策、ワクチン接種効果により感染者数は徐々に低下してきました。シルバー人材センターにとって多大な影響と痛手を及ぼしていましたが、制限の緩和とともに、民間企業・家庭での受注の増加、行政によるコロナ対策により業績は回復してきました。

このような状況ではありますが、美浜町シルバー人材センターにおいては、適正就労に努めるとともに、多様化する就業ニーズに対応した就業機会を確保・提供することにより、会員のみなさんが活躍できる就業の推進に努めて参りました。

令和4年度の請負契約金額は62,991千円で、前年度比9,012千円、16.7%の増加となりました。内訳は、公共が14,609千円で前年度比16.0%の増、民間は32,460千円で前年度比14.6%の増でした。公共の増加の原因は旧指定ごみ配付業務等新規業務の受注が増加したこと、民間では、新規事業所からの発注、家庭からの依頼の増加でした。

シルバー派遣事業においては、延5事業所へ派遣しましたが、延人員は1,087人日と28.1%の減、収入金額も5,148千円と13.1%の減になりました。派遣人数と派遣日数の減少が理由です。

令和4年度も会員拡大に取り組み、会員による口コミなどのほか、町内全世帯へのチラシ配布での広報活動を実施しました。その結果、多くの新規入会者がありました。しかしながら高齢、病気により退会者が多く、会員数は前年度対比3名の増加で終わりました。

最後に、当センターにとって最も懸念される課題は、女性会員の増加です。年度末会員中女性会員が27名の22.3%で若干増えましたがまだまだ少ない状況です。女性会員を増やすためには、女性のできる仕事を増やす必要があります。この両者は、相乗効果をもたらすものでありますので次年度についても最も重要な施策と位置付けして、取り組みを継続いたします。

目標数値と実績数値の比較

項目	目標数値	実績数値	差
会員数	150名 (内女性35名)	121名 (内女性27名)	△29名 (内女性△8名)
受託件数	1,600件	1,715件	115件
配分金額	42,000千円	47,068千円	5,068千円
派遣事業	2,000人日	1,087人日	△913人日

1 会員の増強と普及啓発

- (1) 当センター広報「会報シルバー美浜」を毎月発行し、会員全員に配布することで、シルバーの活動状況をお知らせし、情報の共有に努めました。
- (2) 現会員による口コミ等での会員数増強に努めました。また、町広報3月号に折り込みで町内全世帯に会員募集チラシを配布し、入会の促進に努めました。その結果20名の入会者がありましたが、本人の死亡、病気、他で就業などにより17名の退会者があり、令和5年3月末時点で男性94名、女性27名で、前年度対比3名増の121名となりました。

2 就業機会の確保・拡大

町広報1月号に折り込みで町内全世帯に就業募集チラシを配布し、仕事の受注拡大を目指しました。また、事務所職員、役員及びワーク委員等により、随時チラシ配布や口コミにより受注拡大を図りました。ワーク委員会においても、2度開催した委員会のなかで、改善策等の協議をしました。

3 就業機会の自らの創出

より広く就業機会を提供するため、当センターで就業機会を独自に創出して、人手不足農家への農作業支援を行いました。

4 職業紹介事業

就業を希望する高齢者に対し、職業紹介事業の態勢を整えていましたが、求人、求職ともありませんでした。

5 労働者派遣事業の展開

人手不足の5事業所に延べ1,087人日会員を派遣しました。

6 講習会の開催

就業に必要な知識及び技能の付与を目的として、9月に電動工具取扱講習会、12月に柿梅剪定講習会、3月にみかん剪定講習会を実施しました。
また、デジタル化に対応するため3月にスマホセミナーを開催しました。

7 調査研究及び相談事業

就業率の向上を図るため、またセンターの運営上の参考にするため、就業依頼があった事業所に対しシルバー人材センターへの要望等を聞き取り、サービスの向上・就業拡大に活用しました。

また、高齢者の雇用・就業に伴う相談を常時施設内で受け付けており、適切なアドバイスを行っています。また、就業希望者には入会について説明を行い、相談の場を設けています。

8 安全・適正就業対策事業

令和4年度は安全・適正就業委員会を3回開催し、安全・適正就業対策事業計画を策定して、安全・適正就業意識の普及啓発や安全就業推進強化キャンペーンを実施し事故防止の抑制に努めましたが、傷害事故5件・損害賠償事故3件が発生しました。

また、11月に安全・適正就業委員会の正副委員長による、安全・適正就業パトロールを実施しました。

9 地域に貢献するセンター

地域貢献活動の一環としてボランティア活動を実施しました。3月に、小野浦海岸と野間灯台付近の道路や海岸の清掃活動を34名の会員参加で行いました。

事務事業の経過、事業実績、会員状況については、次のとおりです。